

キルギス・ロシア・スラブ大学
特別講座「ワン・アジア」
実施期間：2013年9月~2014年6月

2013年秋

- 第1回 「アジア共同体理解のための序論」
(9月4日) V. Ploskih (所属大学または機関名 役職名)
- 第2回 「東洋の著名な作家、詩人、思想家の作品に見られる、アジア民族間の平和と協力を維持し強化する理念について」
(9月11日) V. Ploskih
- 第3回 「アジア諸国間の文化的・構造的な中軸としての中央アジア」
(9月18日) V. Ploskih
- 第4回 「ヨーロッパ連合を範としてのアジア共同体の構築」
(9月25日) V. Ploskih
- 第5回 「東洋諸国統合の要因としての宗教 — 文明の基盤」
(10月2日) D. Djunushaliev
- 第6回 「アジア諸国：開発と協力方法の選択」
(10月9日) D. Djunushaliev
- 第7回 「21世紀東洋諸国の政治的不安定要因：相互の協力と解決策」
(10月16日) D. Djunushaliev
- 第8回 「中央アジアの経済・文化の発展への JICA の貢献」
(10月23日) Z. Kurmanov
- 第9回 「アジア諸国発展の模範であり、結合点としての日本」
(10月30日) Z. Kurmanov
- 第10回 「現代のグローバル過程における東洋文明の役割」
(11月6日) Z. Kurmanov
- 第11回 「統一アジア共同体形成における中央アジアの位置と役割」
(11月13日) Men Dmitriy
- 第12回 「カザフスタンと東南アジア諸国：貿易・経済協力」
(11月20日) Men Dmitriy
- 第13回 「アジア諸国の発展と統合のための、新しい大シルクロードの建設」
(11月27日) V. Voropaeva
- 第14回 「アジア諸国の平和、協力、統合と仏教」
(12月4日) V. Voropaeva
- 第15回 「シンガポール — キルギスタン発展の模範として」
(12月11日) A. Dzhakishev
- 第16回 「統合・結束の重要な要因としての、現代における中央アジアと東南アジア間の経済協力」
(12月18日) A. Dzhakishev
- 第17回 「試験」
(12月25日) A. Dzhakishev

2014 年春

- 第 1 回 「諸民族の合流点、会議、協力を通じての、アジア諸国の民族-政治過程和合への道」
(2月5日) A. Dzhakishvili
- 第 2 回 「アジア諸国間の文化・政治・経済架橋の原理」
(2月12日) A. Dzhakishvili
- 第 3 回 「現代の中央アジアと東南アジア間の政治的協調」
(2月19日) A. Dzhakishvili
- 第 4 回 「アジア諸国統合の重要な要因としてのコミュニケーションの方法」
(2月26日) N. Kharehenko
- 第 5 回 「アジア諸国の相互理解と多文化アジア社会形成のための諸国文化の融合」
(3月5日) N. Kharehenko
- 第 6 回 「統一への基盤としてのアジア諸国間の係争中の領土問題の解消、国境の設定」
(3月12日) N. Kharehenko
- 第 7 回 「東洋の歴史-文化空間の統合過程とその強化」
(3月19日) N. Kharehenko
- 第 8 回 「遊牧文明と稲作文明の文化的相互作用」
(3月26日) G. Dzhunushaliev
- 第 9 回 「文化遺産の保存に関するアジア諸国間の協調問題」
(4月2日) G. Dzhunushaliev
- 第 10 回 「アジアの水資源問題：水資源の合理的利用に関する日本の経験に学ぶ」
(4月9日) G. Dzhunushaliev
- 第 11 回 「アジアの伝統的な衣服と融和要因としての現代的傾向」
(4月16日) G. Dzhunushaliev
- 第 12 回 「統合と文化理解の要因としての、現代のアジアの伝統的食生活」
(4月23日) G. Dzhunushaliev
- 第 13 回 「統一要因としてのアジアの伝統的家屋と近代性」
(4月30日) G. Dzhunushaliev
- 第 14 回 「アジアの人々の気質の共通性と特異性」
(5月7日) G. Dzhunushaliev
- 第 15 回 「仏教と中央アジア」
(5月14日) A. Dzhakishvili
- 第 16 回 「ワン・アジア財団代表の講義」
(5月21日)
- 第 17 回 「学生への助言」
(5月28日) 講師全員
- 第 18 回 「試験」
(5月28日) A. Dzhakishvili